



おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2015年6月26日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

「第60回おきぎん企業動向調査」
(2015年4-6月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：高良

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

第 60 回おきぎん企業動向調査(2015 年 4-6 月期)調査結果

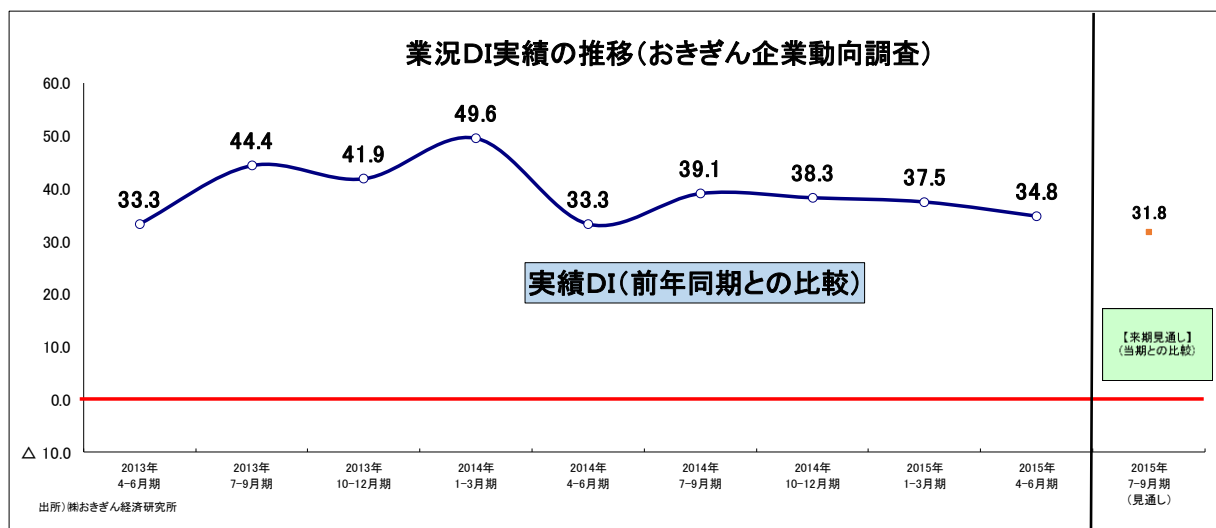
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2015 年 7-9 月期見通し)～

I. はじめに

1. 調査の結果

【業況DIの推移】	2014年			2015年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	33.3	39.1	38.3	37.5	34.8	31.8
製造業	26.5	26.7	28.6	34.7	28.0	28.0
土木業	34.8	60.0	55.6	42.9	42.9	23.8
建築業	46.7	35.1	47.1	43.1	36.3	36.3
卸売業	30.2	25.0	38.2	27.9	25.4	23.7
小売業	13.8	30.3	22.2	22.5	30.1	38.4
情報通信サービス業	37.5	40.0	25.0	44.4	66.7	22.2
医療・福祉	29.2	48.4	20.0	26.7	8.7	8.7
その他サービス業(宿泊・飲食等)	33.9	58.5	50.0	56.3	46.3	48.1
その他(不動産、運輸等)	43.5	48.3	44.7	45.3	41.2	27.8

- 2015 年 4-6 月期の業況DIは 34.8 (前年同期比) となり、全業種で業況改善の動きがみられます。
- 2015 年 7-9 月期の業況見通しDIは 31.8 (2015 年 4-6 月期比) となり、引き続き全業種で業況改善の動きが見込まれます。



2. **調査の概要**: 本調査では各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、採算等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、来期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめました。

- a. 調査時期: 2015年5月中旬～6月上旬
 b. 調査対象: 県内企業 488社 回答
 c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等)
 ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

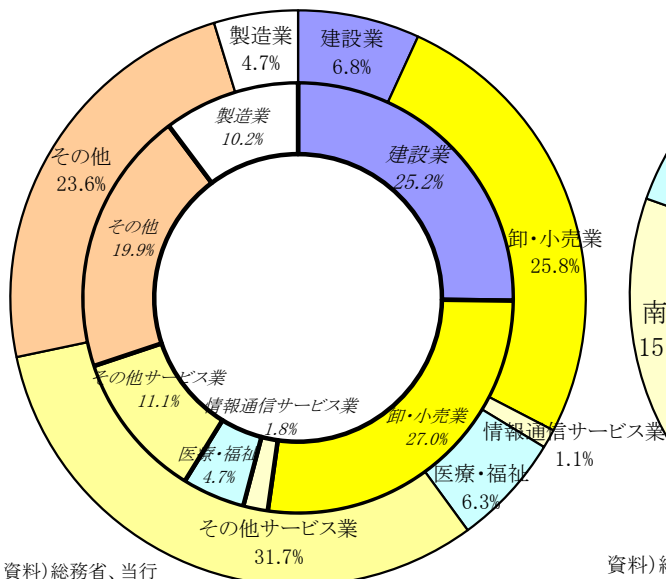
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。

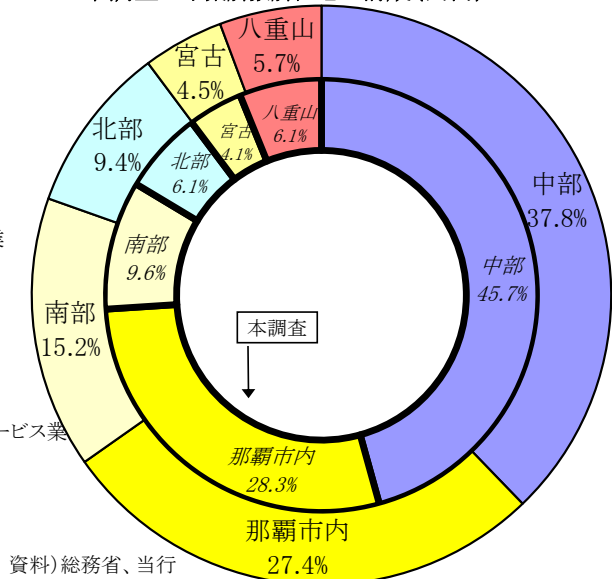
3. 調査対象企業の業種・所在地構成

- 本調査を県内事業所データ(2012年経済センサス基礎調査)と比べると、業種構成は【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【製造業】、【情報通信サービス業】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】、【医療・福祉】はサンプリング数が少なくなっています。
- 所在地構成については、中部・那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



県内の事業所数所在地の構成(外円)、
本調査の事業所数所在地の構成(内円)

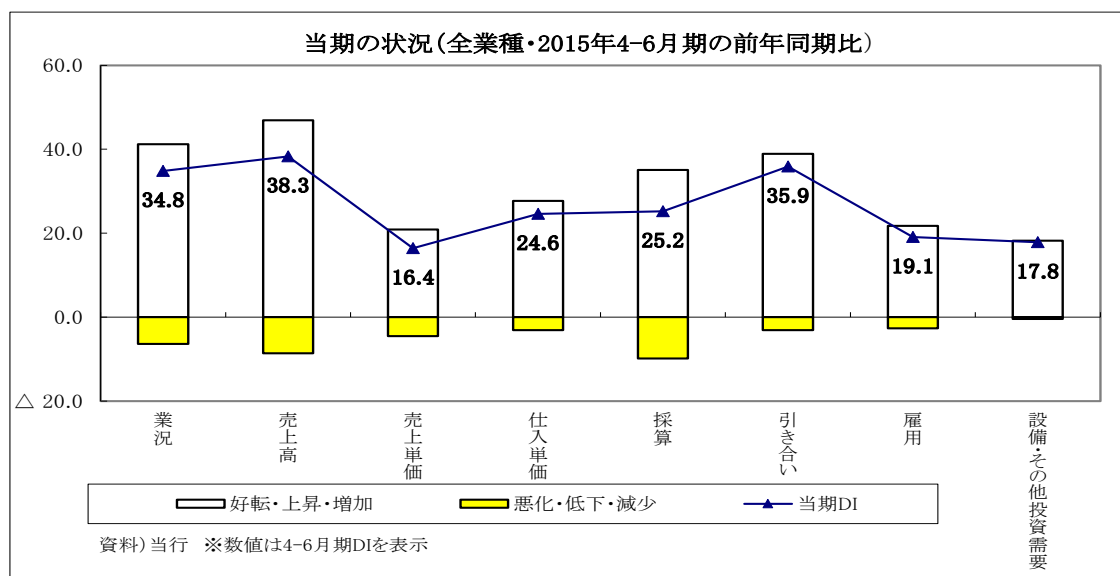


II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

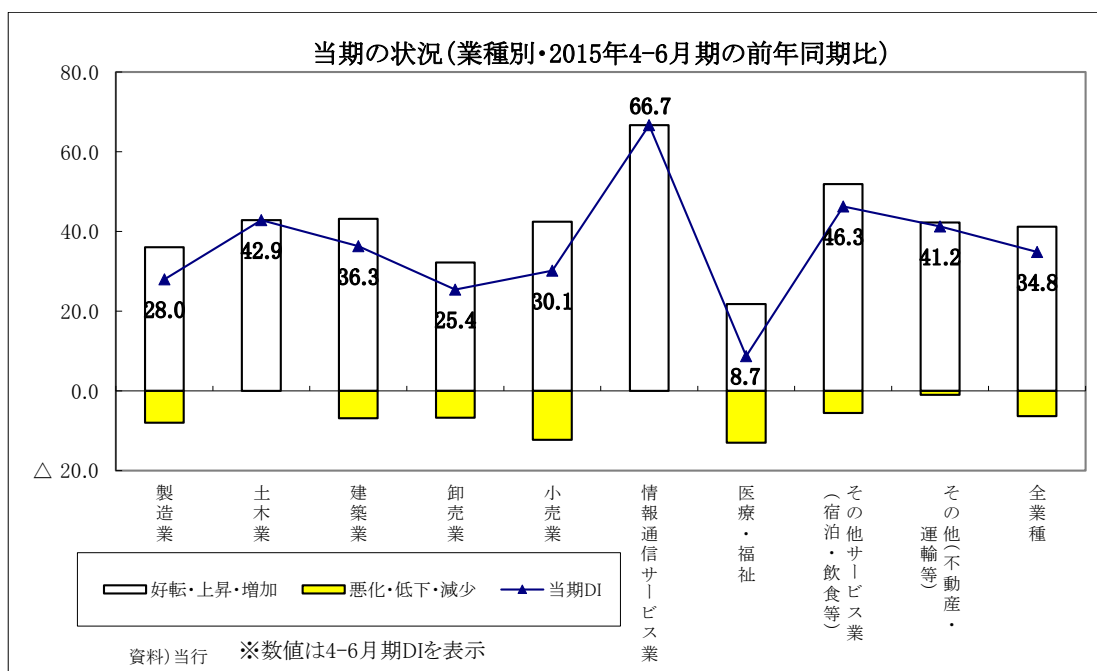
a. ①当期の状況(項目別・2015年4-6月期の前年同期比)

当期の業況は 34.8 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加や観光需要の高まりなどから、売上高(38.3)や引き合い(35.9)をはじめ、多くの項目で改善の動きがみられます。一方で、一部では円安や資材価格高騰などから仕入単価(24.6)の上昇が懸念されています。



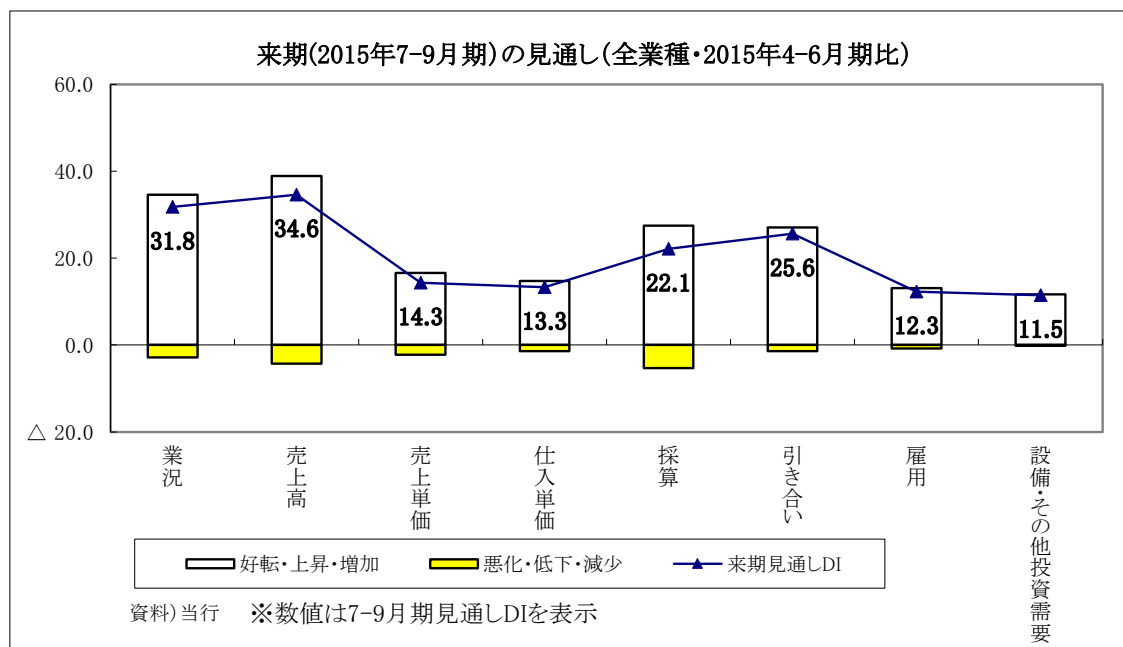
a. ②当期の状況(業種別・2015年4-6月期の前年同期比)

業種別では、全ての業種において業況改善の動きとなりました。【情報通信サービス業(66.7)】は広告需要の増加などから、観光関連である【その他サービス業(46.3)】や【小売業(30.1)】は観光需要の高まりなどから、建設関連である【土木業(42.9)】や【建築業(36.3)】は公共・民間工事の受注増加などから、業況が改善しています。



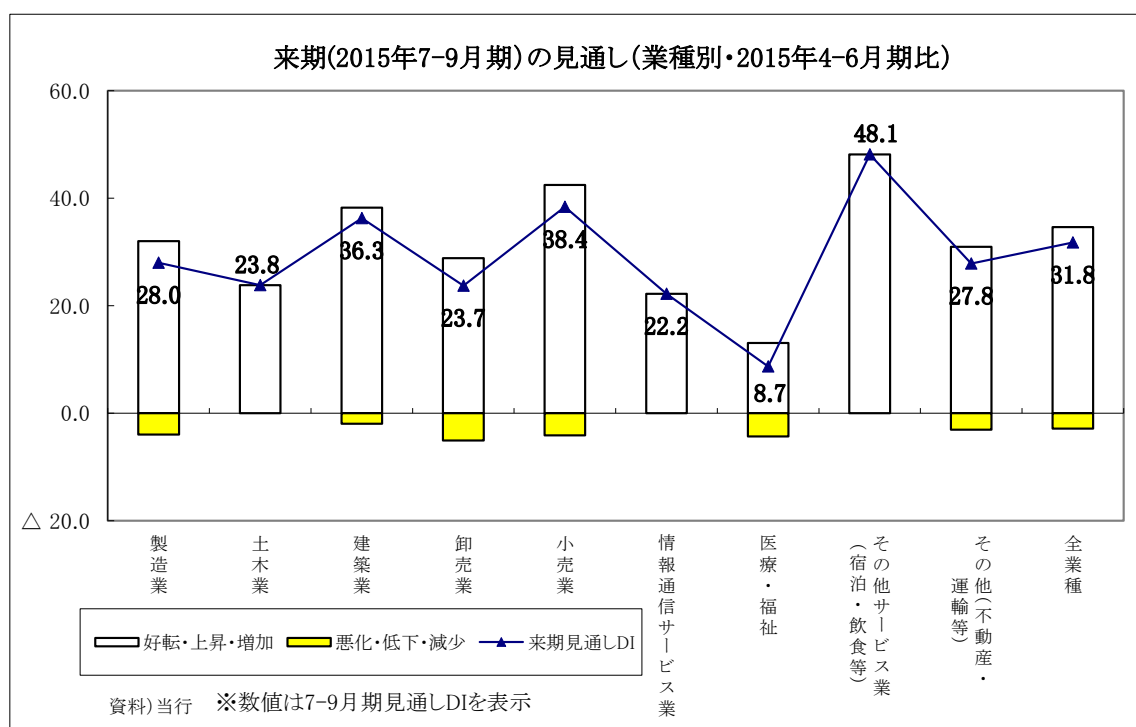
b.①来期の見通し(項目別・2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

来期見通し業況DIは31.8となり、引き続き、業況改善の動きが見込まれます。観光のトップシーズン到来や継続的な公共・民間工事の受注増加などから、売上高(34.6)・引き合い(25.6)・採算(22.1)をはじめ、多くの項目で改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

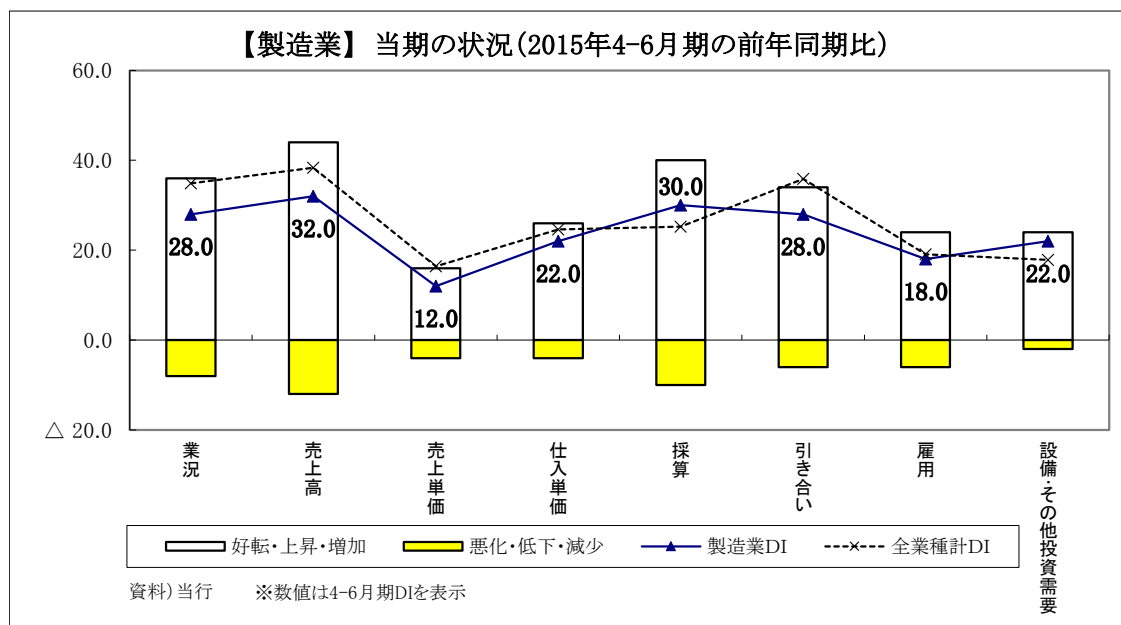
業種別では、全業種において業況改善の動きが見込まれます。【その他サービス業(48.1)】、【小売業(38.4)】、【建築業(36.3)】などにおいて、全業種DIを上回る業況の強さが見込まれます。



2. 製造業

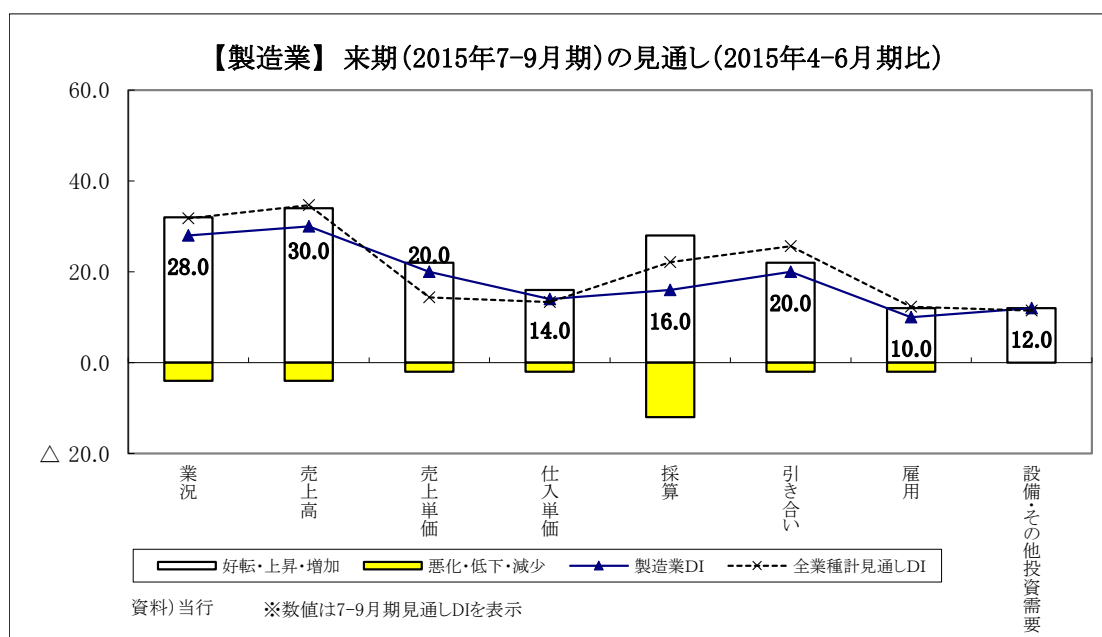
a. 当期の状況 (2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは28.0となり、全体としては業況改善の動きがみられます。食品・飲料・プラスチックフィルム製造業などでは、観光需要の高まりに加えて、大型商業施設開店に伴う販路の拡大や売上単価の上昇などから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。一方、一部の酒類製造業では、需要の減少などから売上高・採算の悪化がみられます。



b. 来期の見通し (2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

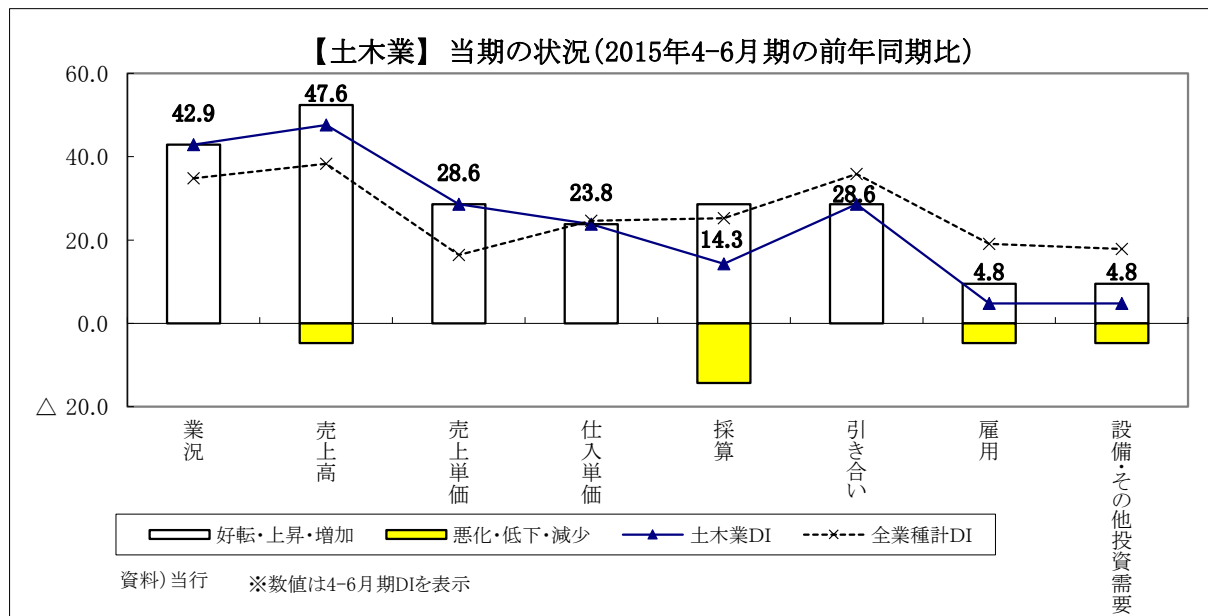
見通し業況DIは28.0となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。観光関連(食品・菓子・飲料製造業)では、新規出店効果や観光のトップシーズン到来により、売上高・採算・引き合いの改善が見込まれています。



3. 土木業

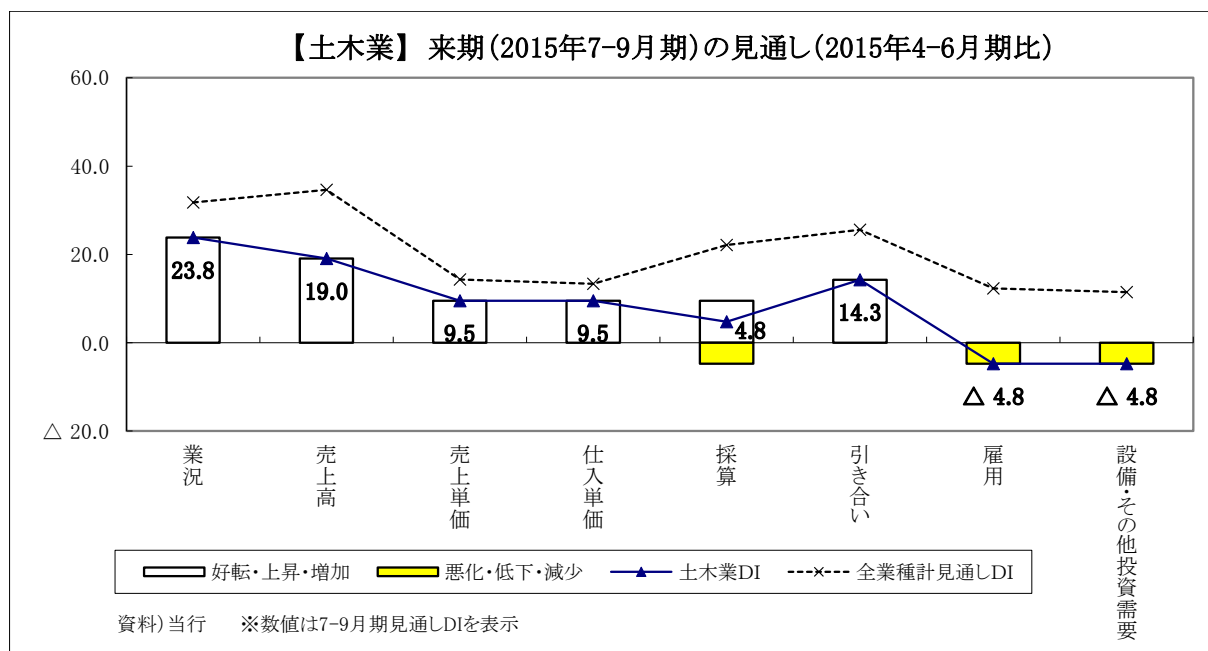
a. 当期の状況 (2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 42.9 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事(那覇空港・市町村関連)の受注増加などから、売上高・引き合いが増加しています。一方、一部では資材価格や人件費の高騰などから、採算悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し (2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

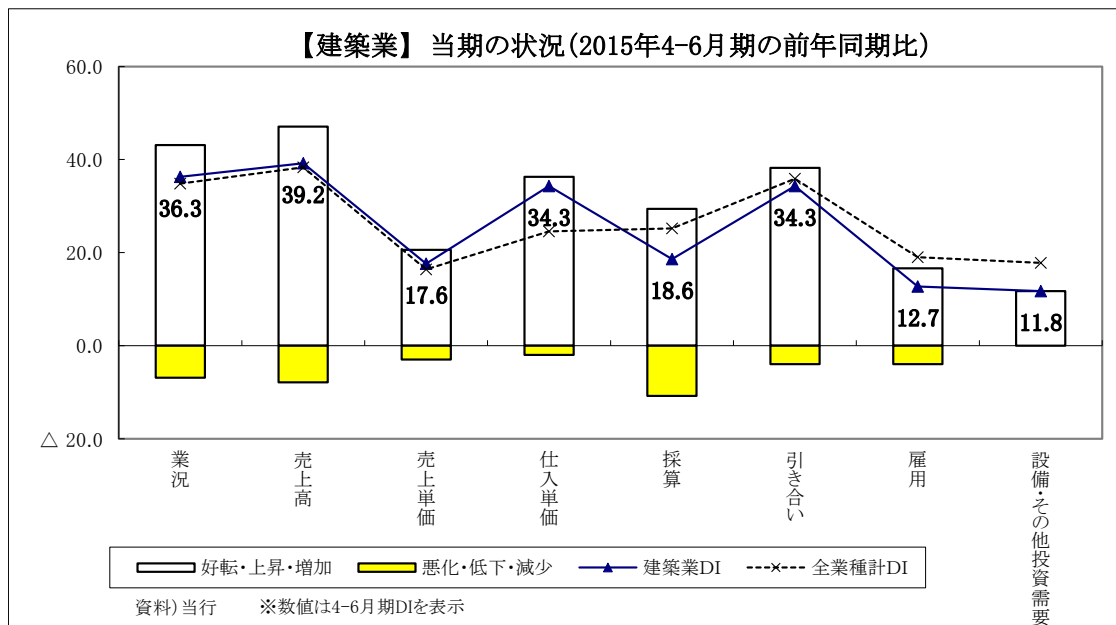
見通し業況DIは 23.8 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共工事の受注増加が見込まれ、売上高・引き合いの増加が期待されます。一方、一部では恒常的な人手不足や雇用が確保できていない事業者もみられます。



4. 建築業

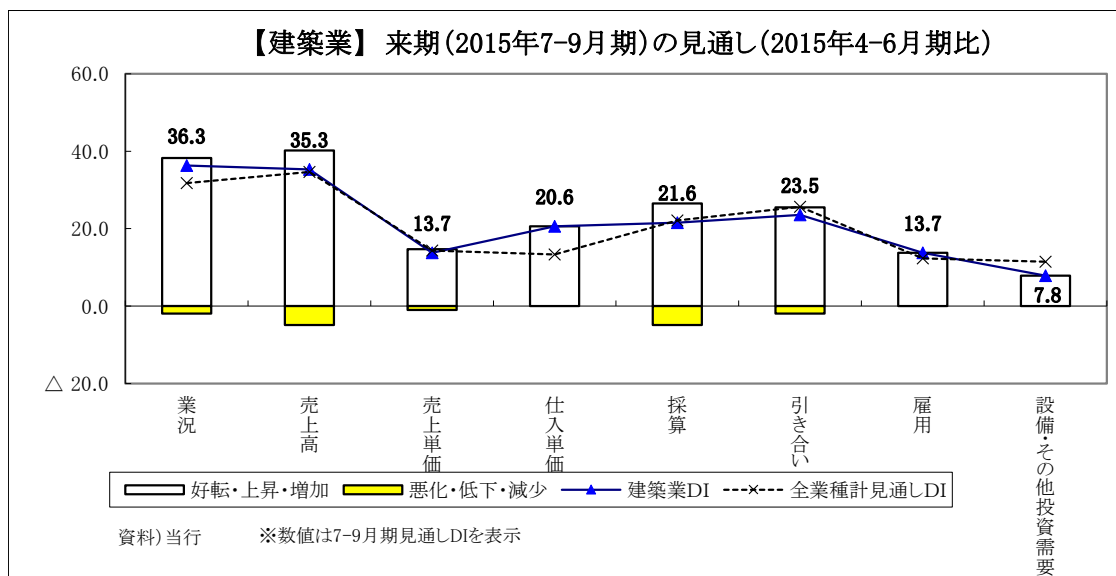
a. 当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは36.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加などにより、売上高・引き合いが増加しています。一方で、一部では前年にみられた、消費増税に伴う駆け込み工事需要の反動から売上高が減少している事業者や資材価格、人件費の高騰などから採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

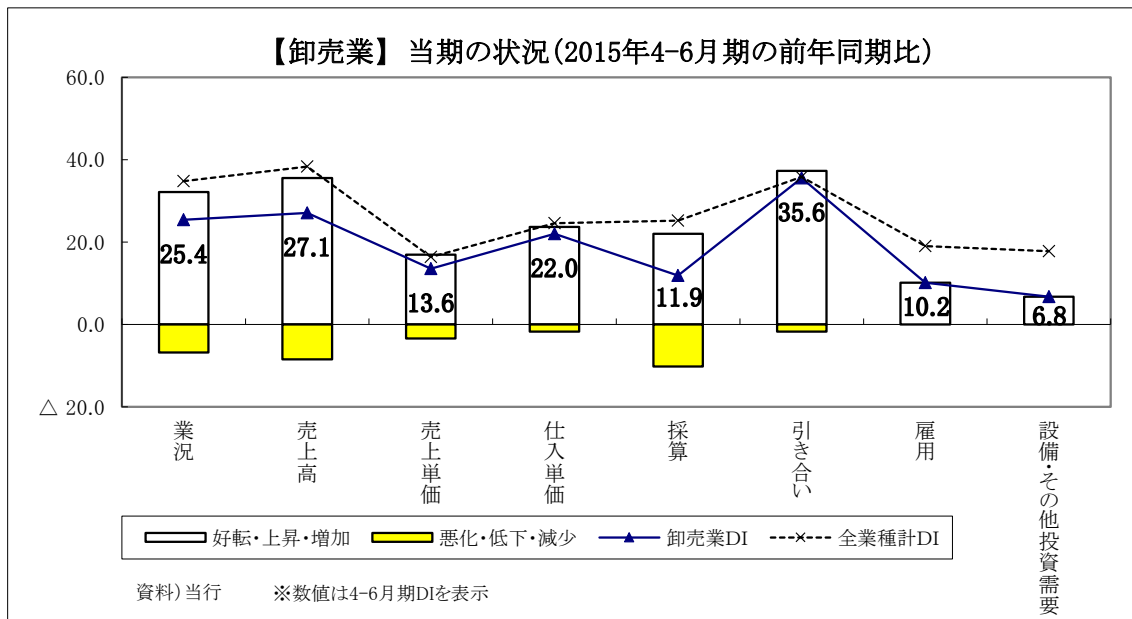
見通し業況DIは36.3となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共(市町村施設関連・基地内工事)・民間工事(病院・ホテル・アパート等)の受注増加が見込まれ、売上高や引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では恒常的な人手不足(型枠・内装等)から受注を見送る事業者もみられます。



5. 卸売業

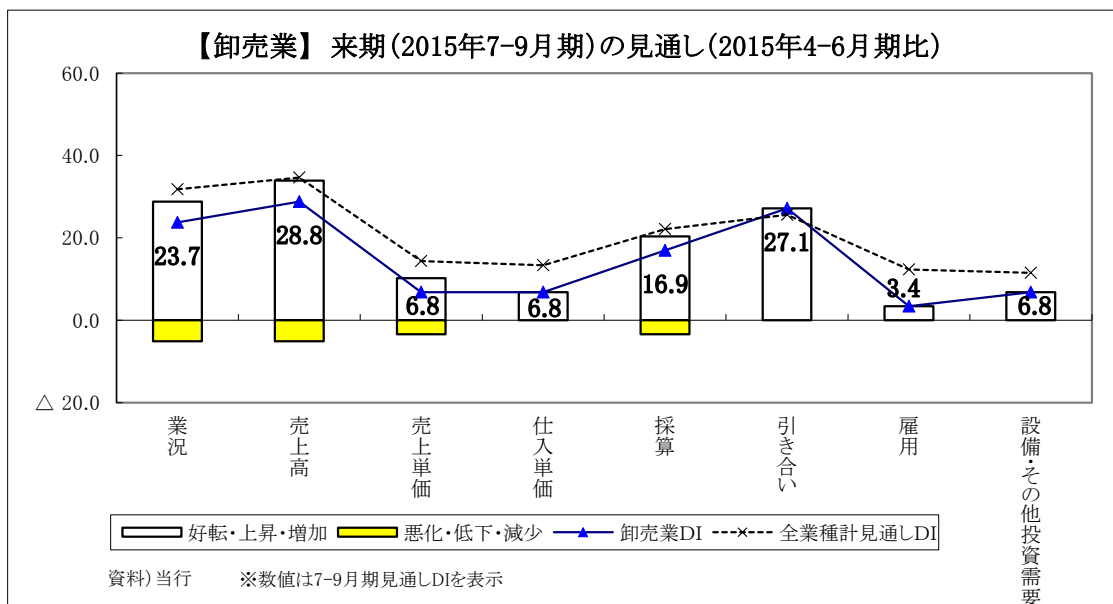
a. 当期の状況 (2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは25.4となり、全体としては業況改善の動きがみられます。大型商業施設開店により、内装関連業者(トイレ・タイル・インテリア・事務機器等)や出店関連業者(水産・食品卸等)では売上高や引き合いの増加がみられます。一方で、一部では円安の影響による仕入単価の上昇などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し (2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

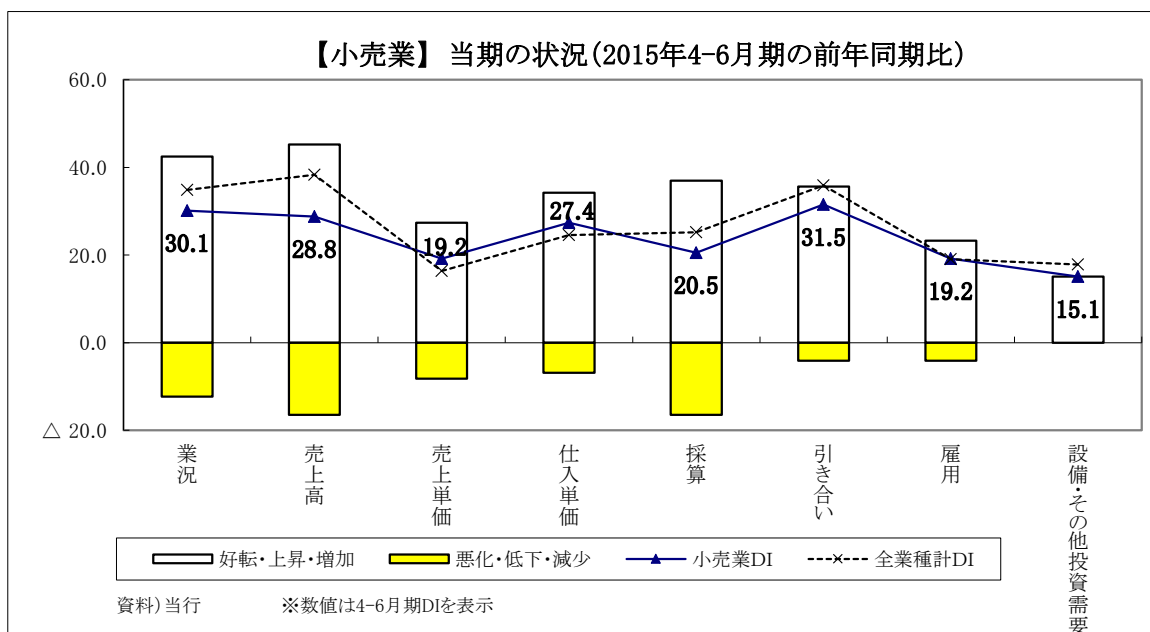
見通し業況DIは23.7となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。病院移転工事などにより、一部の建設資材・衛生関連業者では、売上高・引き合いの増加が見込まれるほか、食品卸業者では観光需要の高まりなどから、売上高の増加が見込まれます。一方で、仕入単価や採算へ影響することから、為替や原油価格の動向を注視している声もあります。



6. 小売業

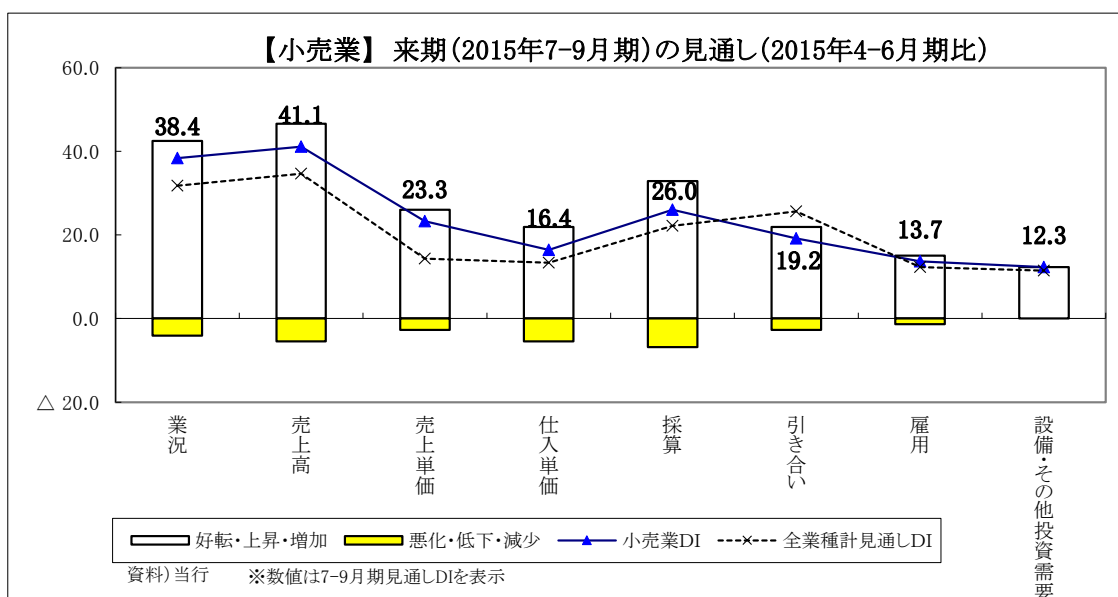
a. 当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 30.1 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。観光土産品販売業者(菓子・雑貨・アクセサリなど)やガソリン・ガス販売業者では、観光需要の高まりや原油価格下落の影響などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方、一部では円安による仕入単価の上昇から採算の悪化を懸念する事業者や近隣への大型商業施設開店により業況が悪化している事業者などもみられます。



b. 来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

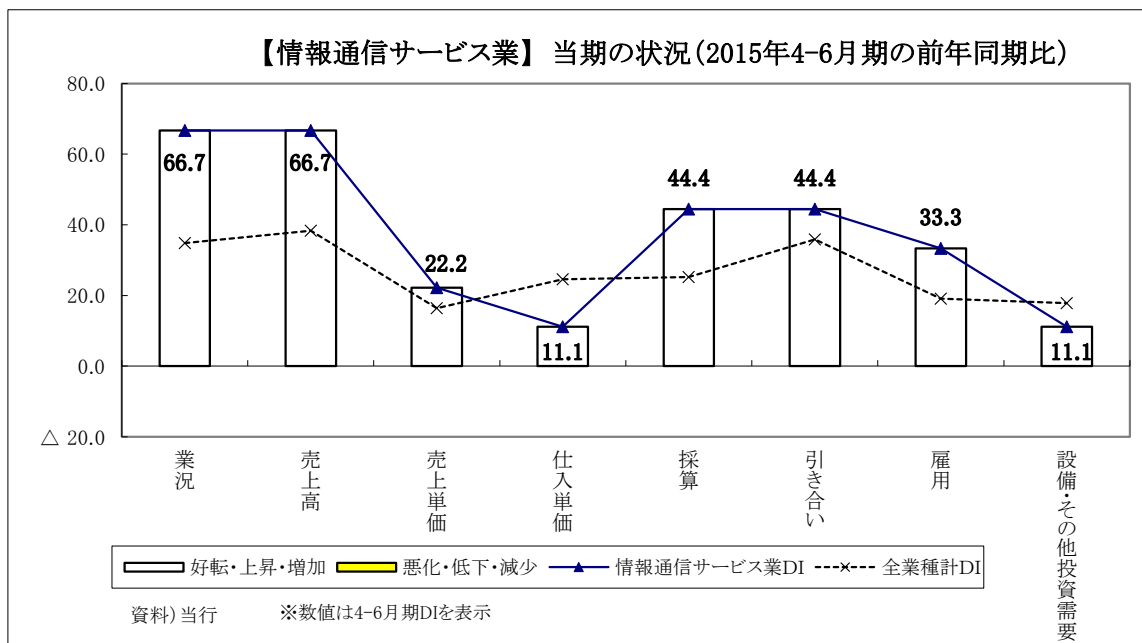
見通し業況DIは 38.4 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、観光のトップシーズン到来により売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、一部のコンビニ・自動車販売・ガソリン販売業者などでは新規出店計画などにより、売上高・設備投資需要の増加が見込まれます。



7. 情報通信サービス業

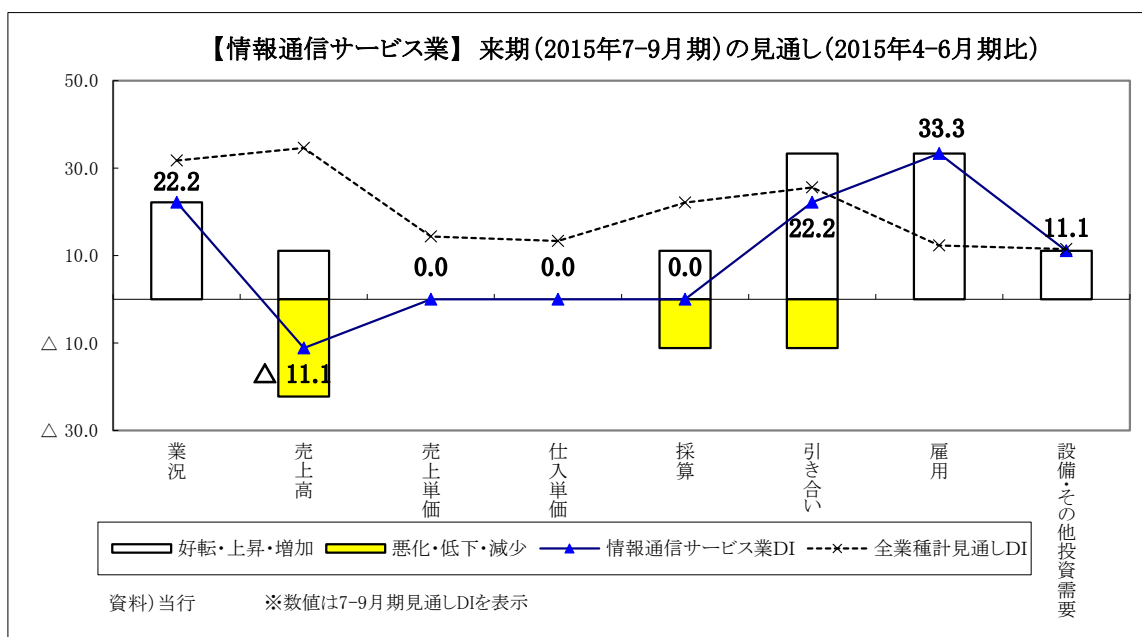
a. 当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 66.7 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。テレビ広告・求人広告業者などでは、広告による放送収入や求人需要の増加などから、売上高・引き合いの増加がみられるほか、一部の事業者では雇用の増加もみられます。



b. 来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

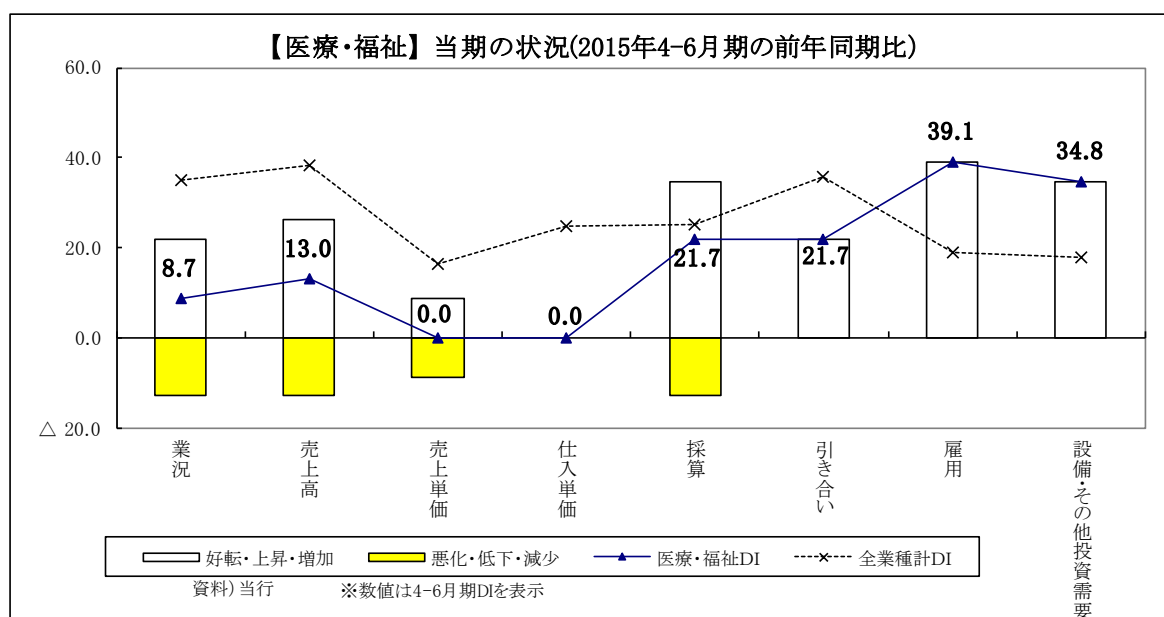
見通し業況DIは 22.2 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、アプリ制作・求人広告業者などでは、引き合い・雇用の増加が見込まれます。一方、IT 機器工事業者では、今期で事業が完了した反動から売上高の減少が予想されます。



8. 医療・福祉

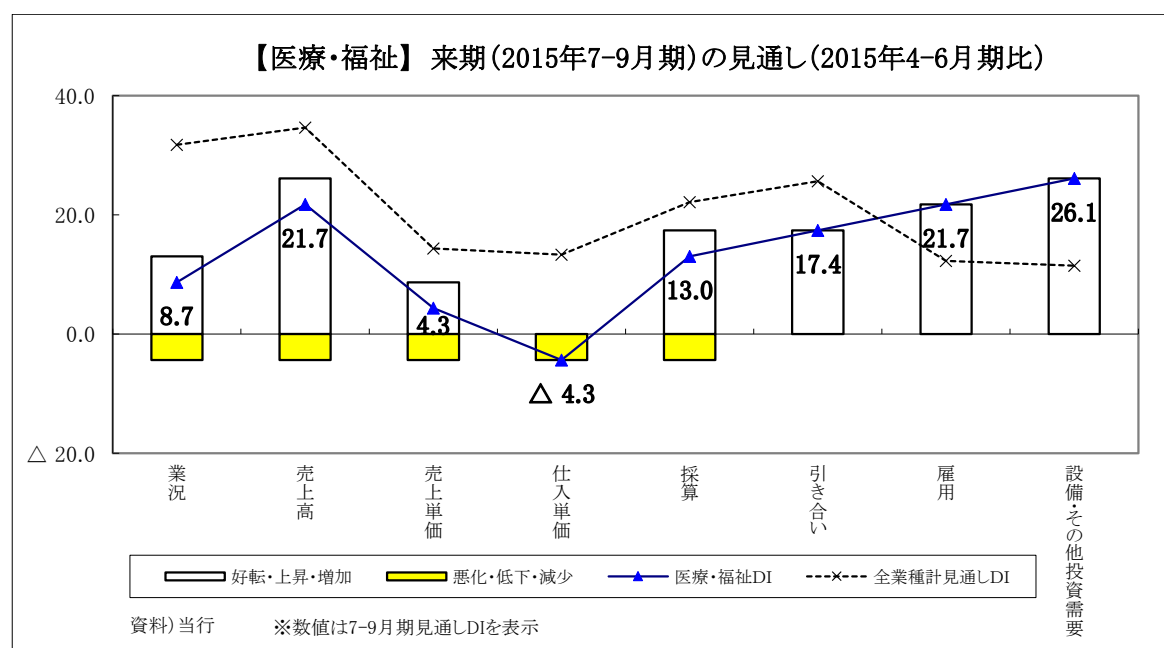
a. 当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 8.7 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。医療機器の設備投資、雇用の増加、病院移転などにより外来利用者が増加したことなどから、経営環境が堅調に推移し、売上高・採算が増加している事業者がみられます。一方、一部では売上高・採算が悪化している事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

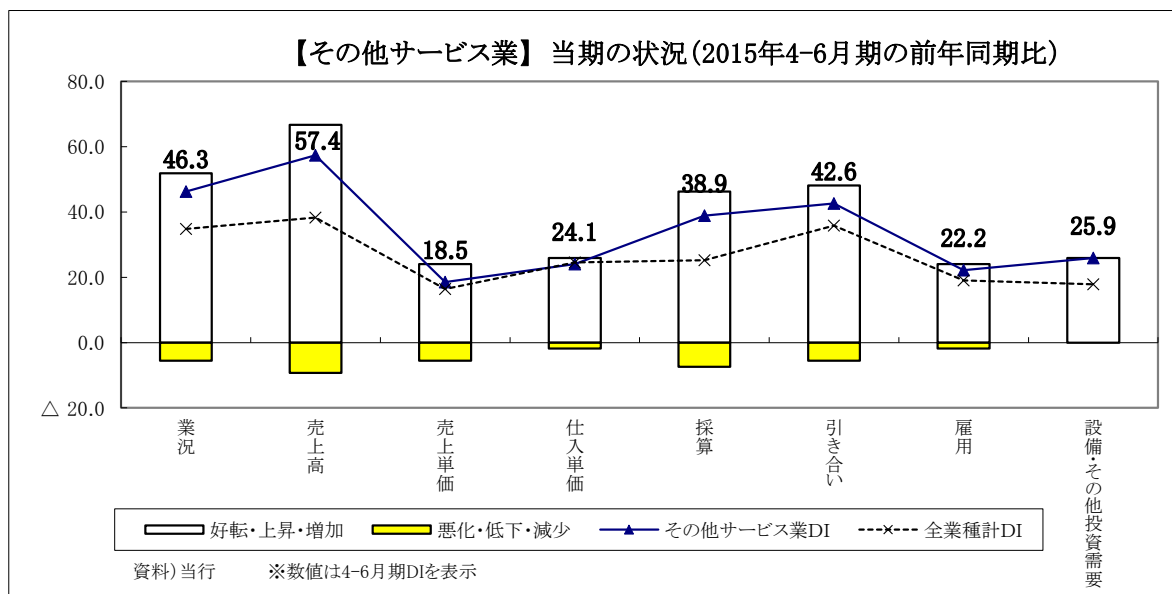
見通し業況DIは 8.7 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。一部では、医療施設の経営努力により仕入単価の減少を見込む事業者がみられます。引き続き、病院移転や新規介護施設の開業などによる外来利用者の増加が見込まれ、売上高・雇用の増加が期待されます。



9.その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

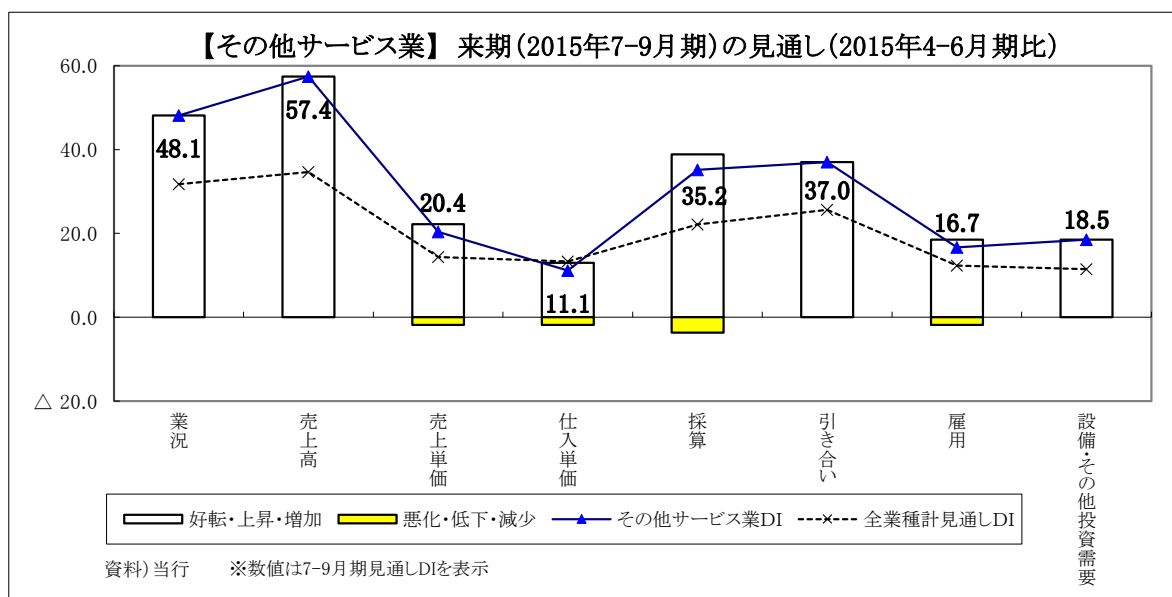
a.当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは46.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。宿泊・飲食業者などでは、観光需要の高まりなどから、売上高・採算・引き合いが増加しているほか、警備・リース・重機整備・産廃業者などでは、建設工事増加により引き合いが増加しています。一方で、一部では仕入単価や人件費の増加などから採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b.来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

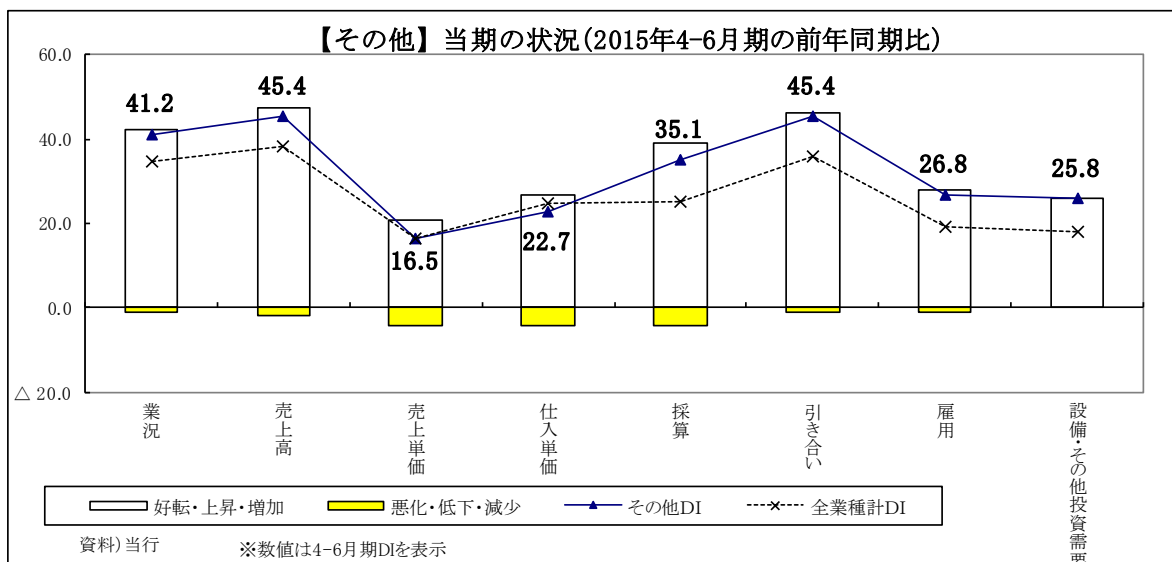
見通し業況DIは48.1となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。観光のトップシーズン到来により、関連事業者の業況改善が見込まれるほか、円安の影響などによる外国人観光客の増加に伴い、新規出店を計画している事業者もみられます。一方で、継続的な人手不足や人件費高騰から、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

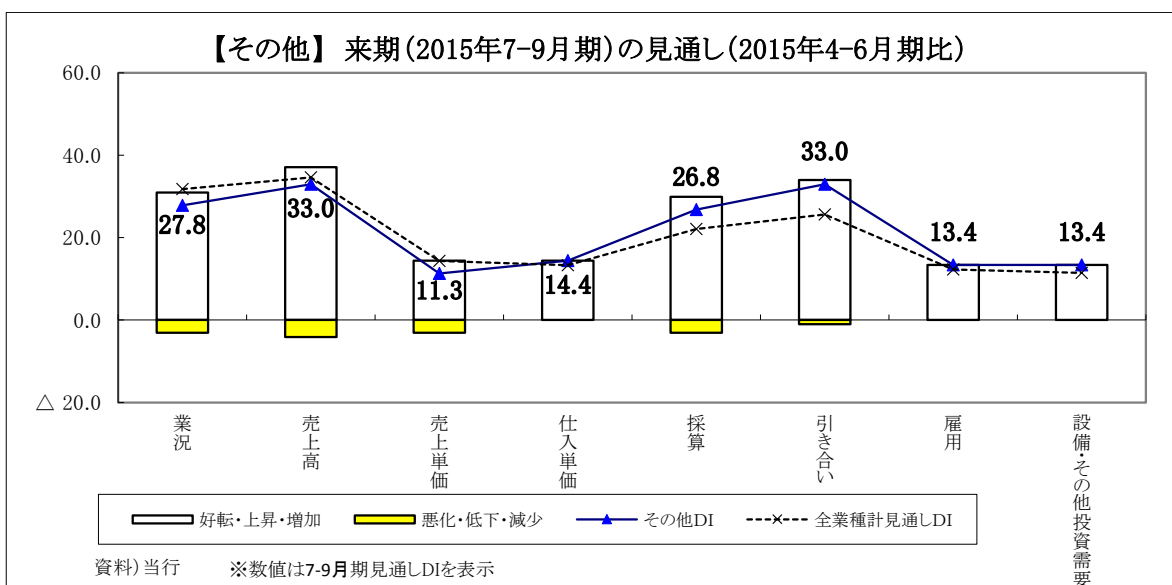
a.当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 41.2 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。測量・設計・リース業者では公共工事の受注増加などにより、運輸業者(陸・海・空)では観光需要の高まりや物流倉庫の増床などから、売上高・引き合い・採算・雇用の増加がみられます。



b.来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

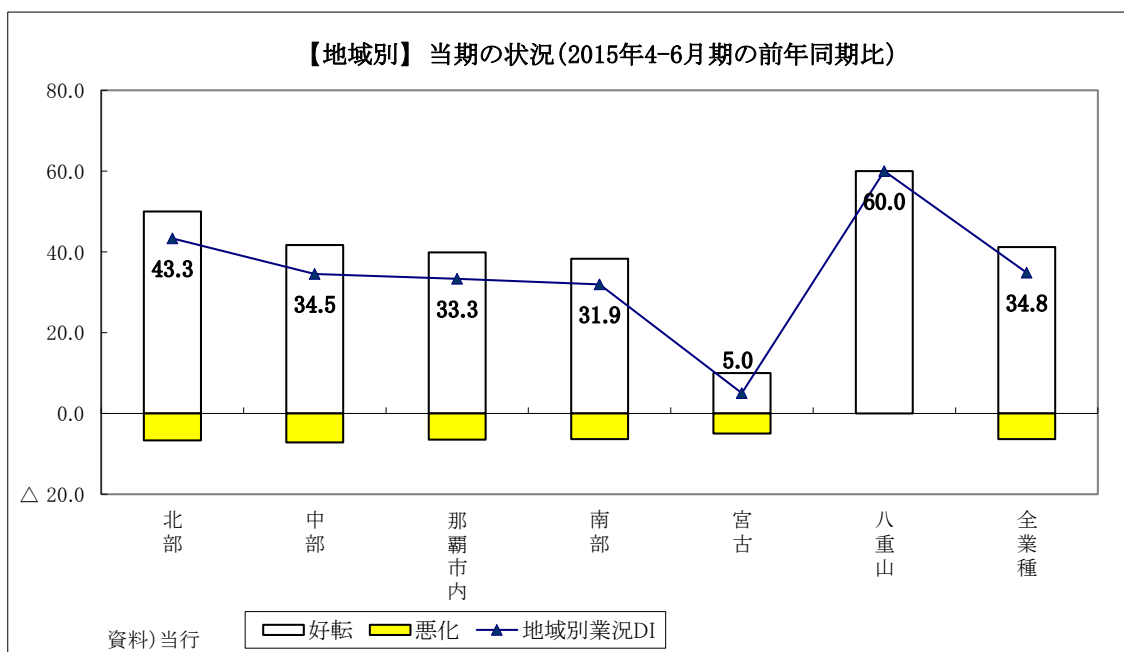
見通し業況 DI は 27.8 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、測量・設計・リース業者では公共工事の受注増加により、運輸業者では観光のトップシーズン到来により、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、一部の不動産業者(管理・販売)では中部地区の大型商業施設開店に伴い、周辺地区の開発や物件への引き合い・投資需要の増加を見込んでいます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

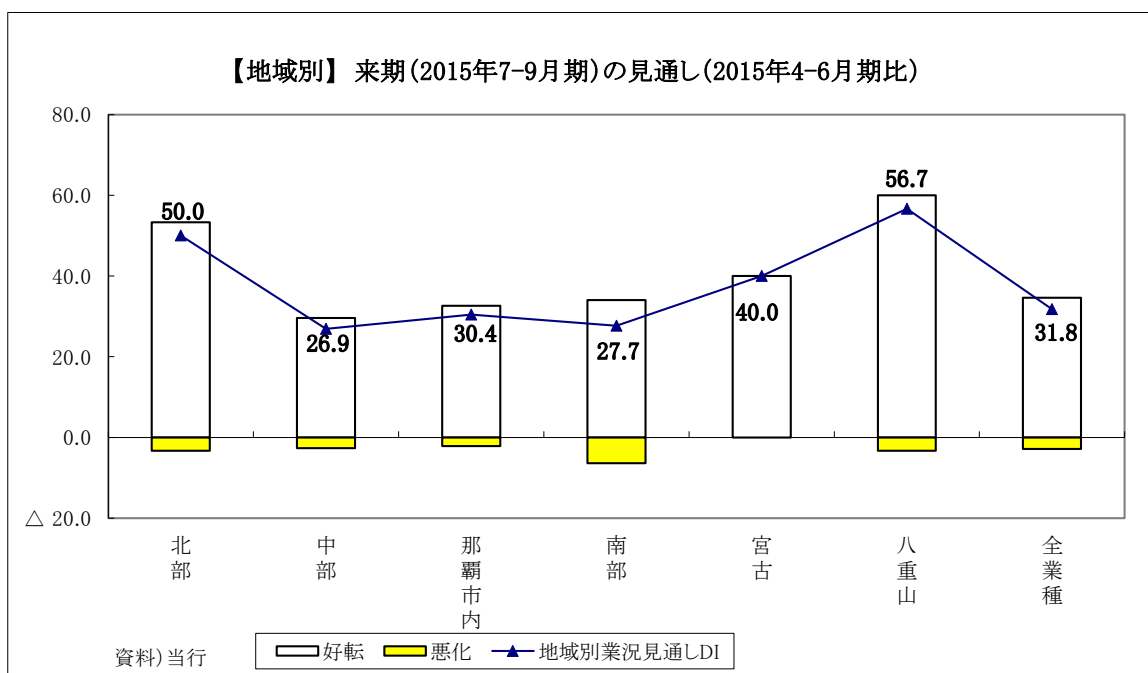
1. 当期の状況(2015年4-6月期の前年同期比)

地域別業況DIは、継続的な新石垣空港開港効果や公共工事の受注増加がみられる八重山地区(60.0)をはじめ、各地域で観光関連(宿泊・小売・運輸業等)や建設関連(土木・建築業等)が好調に推移していることなどから、全ての地域で業況改善の動きとなりました。



2. 来期の見通し(2015年7-9月期の2015年4-6月期比)

地域別業況見通しDIは、引き続き、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。観光のトップシーズン到来や建設関連における継続的な受注増加などにより、業況が好調に推移することが予想されます。



IV.まとめ

【当期の業況DI】

- ① 当期（2015年4-6月期）の業況DIは**34.8**ポイント（前年同期比）となり、業況改善の動きとなりました。
- ② **観光関連（飲食・宿泊・運輸業など）**では、入域観光客数が好調に推移（4月＝12.3%増、5月＝8.9%増：いずれも前年同月比）していることなどから、売上高・引き合いが増加しており、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連（土木・建築・測量・設計）**では、公共（那覇空港・市町村施設関連）・民間（病院・ホテル・アパート・個人住宅など）工事の受注増加がみられ、業況は改善しています。一部では資材価格高騰や人手不足による人件費高騰などにより、採算の悪化を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業（スーパー・百貨店・観光土産品・ガソリン販売など）**では、国内外からの観光需要の高まりにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。一部では円安による仕入単価の上昇や採算の悪化を懸念する事業者、近隣への大型商業施設開店により業況が悪化している事業者などもみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ⑤ **卸売業**では、大型商業施設開店に伴い、関連事業者（内装・食品卸など）で売上高・引き合いが増加しています。一部では円安の影響による仕入単価の上昇などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。

【来期の見通し業況DI】

- ① 来期（2015年7-9月期）の見通し業況DIは**31.8**ポイント（2015年4-6月期比）となり、引き続き、改善されることが期待されます。
- ② **観光関連**では、観光のトップシーズン到来により、関連事業者の業況改善が見込まれるほか、円安の影響などにより外国人観光客が増加していることなどから、新規出店を計画している事業者もみられます。一部では継続的な人手不足や人件費高騰から、採算の悪化を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連**では、継続的な公共・民間工事の受注増加が期待されています。一部では恒常的な人手不足や雇用が確保できていない事業者に加えて、新規受注を見送る事業者などもみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業**では、観光のトップシーズン到来により売上高・採算・引き合いの増加が見込まれるほか、一部のコンビニ・自動車販売・ガソリン販売業者などでは新規出店を計画していることから、売上高・設備投資需要の増加が見込まれます。